

# パステル

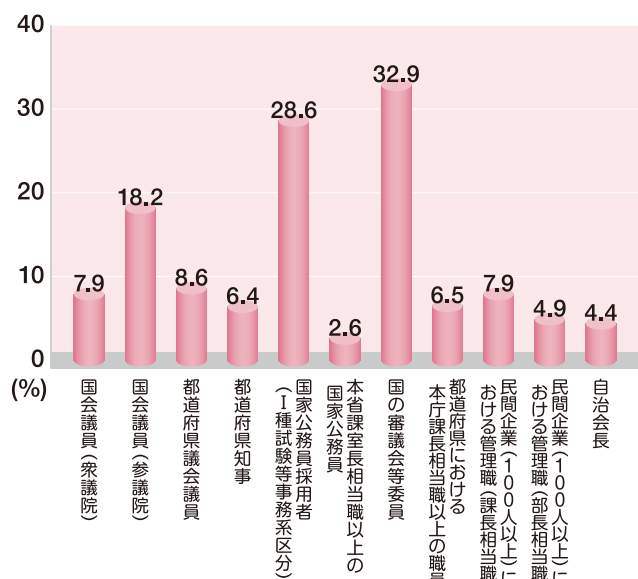


特集

## 「あきらめない」女子力が社会を変える



### 各分野における「指導的地位」に女性が占める割合



(資料)「男女共同参画白書 平成25年版」より抜粋



国の第3次男女共同参画基本計画では「2020年30%」という目標が掲げられています。これは「社会のあらゆる分野において、2020年までに指導的地位に女性が占める割合を少なくとも30%程度とする」という方針です。女性の社会進出についての重要性が指摘され、その意義も認められてきて、指導的地位にある女性の割合は緩やかに増加しているものの、その水準は依然として低いのが現状です。ポジティブアクション(積極的改善措置)を推奨する動きも出てきていますが、まだ十分ではありません。

こうしたなか大田区では審議会における女性割合が、分野により偏りはあるものの、全体平均で現在31.2%を達成しています。さらに、27年度までに40%にするという目標を掲げ、男女共同参画推進の重要課題としています。

また、指導的地位の女性を増やすには、元となる就業率、特に正規雇用者の継続的な増加が不可欠です。責任ある立場につくには、結婚、出産、子育てを理由に仕事

を長期的に中断する女性を減らす必要があるからです。

4月19日の安倍総理による成長戦略スピーチでは、女性の活躍を成長戦略の中核としています。国際通貨基金(IMF)でも雇用と成長に関する報告書で、日本で女性の労働参加率が低いことを指摘し、日本社会の高齢化に対応するため雇用対策や規制緩和で女性の就業を拡大すべきだと提言しました。

今回は、女性が指導的地位につくためにはどのようなことが必要か、また求められているのかを、大田区で活躍する女性経営者の対談を中心に考えたいと思います。

### CONTENTS

特集 「あきらめない」女子力が社会を変える P1~6

パステルおすすめ本 P7

女性のための「たんぼぼ相談」 P7

インフォメーション P8